

つなごう！憲法をいかす未来へ11・3憲法大行動

日本国憲法が公布され77年目の3日、全国各地で憲法を守れ、憲法を生かした社会の実現を求める集会や宣伝が行われました。

国会正門前では、総がかり行動実行委員会等の主催で「つなごう！憲法をいかす未来へ11・3憲法大行動」が、青空の下、行われました。行動には4000人が参加し、「憲法を守れ」「憲法生かして暮らしを守ろう」「戦争反対」と声を上げました。

主催者あいさつで、総がかり行動実行委員会の藤本泰成共同代表は、ウクライナ侵攻、パレスチナでの紛争を止めるため「世界が考えなくてはいけないのは平和主義の具現化だ。報復ではない努力が必要だ」と強調。「平和憲法を守るためにこれまでもこれからも皆さんと考え、行動して行きたい」と訴えました。

立憲民主党、日本共産党、れいわ新選組、社会民主党、沖縄の風の国会議員が駆けつけ、挨拶。日本共産党の小池書記局長は、イスラエルの国際法違反のガザ攻撃の中止を求めず、国連総会で人道的休戦決議に「棄権」した日本政府を批判し、「平和的生存権と戦争放棄を宣言した憲法と平和外交の出番だ」と強調し、岸田政権発足の2年間で軍事費は2.5兆円増えたと告発し、暮らしも平和も財政も危機にさらす大軍拡を止めようと呼びかけました。共産党からは吉良よし子、山添拓両参議院議員が参加しました。

メインスピーチでは、斉藤小百合さん(恵泉女学園大学教授・憲法学)は、岸田首相は「戦争できる国」に向かっていると述べ、「武力によって他者を支配しようとするのは、日本国憲法の価値観の対局にあるものだ」と批判。「異なる多様な私たちがともに生きて行く礎が憲法です。なんとしても次世代に引き継いでいきたい」と語りました。

清水雅彦さん(日本体育大学教授・憲法学)は、軍事費を国内総生産比で2%、世界第3位にするなど、「安保3文書」のめざす自衛隊は従来の政府解釈からも説明できないと指摘。外交努力こそ必要だと強調し、「岸田首相は私たちの声を聞きなさい。労組と市民と野党の共闘で政権交代をめざそう」と呼びかけました。

さらに、リレートークでは、辺野古の米軍新基地建設をめぐる訴訟で、県の代理人を務める加藤裕弁護士、「非難の権利」を求める全国避難者の会の大賀あや子さん、マイナンバー問題でたたかう住江憲勇医師(全国保険医団体連合会会長)がスピーチしました。

さいごに、総がかり行動実行委員会の高田健氏が行動提起を行いました。

イスラエル軍はガザ北部のジャバリア難民キャンプを再び攻撃

イスラエル軍は1日、パレスチナ自治区ガザ北部のジャバリア難民キャンプを再び攻撃し、イスラム組織ハマス幹部を殺害したと発表しました。前日もジャバリアを攻撃していました。

イスラエル軍は、戦闘機が「正確な情報に基づいて」ジャバリアにあるハマスの指揮統制施設を攻撃し、対戦車ミサイル部隊のトップを殺害したと発表。「ハマスが意図的に民間の建物の周辺や内部にテロインフラを構築し、ガザ市民を危険にさらしている」と非難しました。

国連人権高等弁務官はこの作戦について、民間人の死傷者の多さと破壊の規模を踏まえると戦争犯罪の可能性があると懸念を示しました。

ガザ当局はキャンプでの1日の死傷者数について現時点で発表していません。パレスチナ保健当局によると、前日の最初の空爆では約50人が死亡、150人が負傷したとのこと。

イスラエルは前日の空爆で10月7日のイスラエル攻撃の首謀者を殺害したとしています。

「即時停戦」「虐殺やめろ」イスラエル大使館近くで行動

東京都千代田区にあるイスラエル大使館近くで1日、「即時停戦」「子どもを殺すな」「虐殺やめろ」とスピーチとコールが3時間にわたって響きました。「パレスチナに平和を！緊急行動」が呼びかけ、約300人が集まりました。

埼玉から参加した女性は、「座り込み・集会に危機を感じて久しぶりに参加しましたが、こんなに多くの皆さんがパレスチナの平和を願って集っていることに感動し、一緒に大きな声を上げました」と話しました。

最前列でプラカードを持っていた大学院生は、「イスラエルは圧倒的な力の差をもって暴力をふるっている。これは戦争ではなく虐殺でしかない」と言います。国連総会で「人道的休戦」を求める決議案にたいし日本が棄権したことについて、「棄権じゃなく、一日でも早くやめさせるために、世界各国に働きかけるべきだ」と訴えました。

Aさんは、大学時代、ヨルダンに行ったとき「小高い丘から“あそこが西岸地区”と教えられた」といいます。「パレスチナ問題は人種差別。差別状態を私たちは見て見ぬふりをしてきた。放っておいて言い訳がない。みんなが今の状況に目を向けてほしい」と話していました。

千葉県からきたBさんは、千葉県の幕張で開催された武器見本市に反対してきました。「見本市にイスラエルの企業がきていた。イスラエルにビジネスチャンスを与えてしまった」と悔しさをにじませました。英語で「沈黙は共犯」と書いたプラカードを掲げ、「戦争に加担したくない」と話していました。



各地の取り組み

国会前 3日行動「戦争はダメ」「憲法9条を守ろう」とプラカードなどを掲げる

政治や社会への思いをアピールする3日行動が、憲法大集会の前に、国会正門前で行われました。市民約200人が集まり、「戦争はダメ」「憲法9条を守ろう」と書かれたプラカードなどを掲げて声を上げました。

呼びかけ人で作家の澤地久枝さんは、軍拡を進める岸田政権について、「どんどん戦争前夜の方角に向かっている。自分は正しいことをしていると思っているのか」と批判しました。そして、「ますます政治が悪くなれば、待っているのは戦争です。そうならないように、頑張ってください」と呼びかけました。参加者は拍手でこたえました。

さいたま市から参加した鈴木美代子さんは「太平洋戦争で、叔父が戦死した」と語り、「STOP THE WAR」と手描きしたプラカードを持って、「戦争はダメ」と声を上げ、全ての戦争に反対する思いを込めました。

広島 「NO WAR」と被爆地広島から声を上げよう

広島県民大集会が3日も無広島市の平和記念公園で開催されました。主催は、国民大運動実行員会。飛び入り参加した外国人も含め200人が「NO WAR」「イスラエル・ガザ紛争の即時停止を」と書かれたプラカードや横断幕を掲げアピールしました。

代表の神部泰典労連議長は、大軍拡を進める岸田政権を批判するとともに、中東で激化する暴力の悪循環について「武力で平和はつukれない」と力説。「イスラエル・ガザ紛争の即時停止、市民を殺すな、子どもを殺すなと被爆地広島から声をあげよう」と呼びかけました。

来賓あいさつした日本共産党の大平よしのぶ衆院中国四国比例候補は、「内政や外交も閣僚の資質でも完全に行き詰っている政権の体をなしていない岸田政権にノーの審判を下そう」と訴えました。